

カードの種類を選ぼう

Intelligence effect
Ie'step
アイ・ステップ

史上初!

目覚しいスピードで脳が発達する乳幼児期。この時期に全脳を発達させる画期的な好刺激アイテムの登場です！さらにパソコンを利用する『デジタル&速音聴』の、しかも多言語学習機能を追加した『アイ・カード マム』です。



デジタル速音聴® 絵カード Ie'card mam アイ・カード マム

- セット内容**
- 絵カード……………1,000枚(「予備用白紙カード」20枚付)
 - デジタル速音聴®ソフトCD・ROM……………2枚
(日本語・英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語の6か国語に対応したパソコン用のインストールCD-ROMです)
 - デジタル速音聴®ソフト用マムキー……………1本

……………【カードの構成】……………

| | | |
|------------------|----------------------|-------------------------|
| ①生活・人びと……………21枚 | 10 名画……………30枚 | 19 楽器*……………20枚 |
| ②生活・住まい……………55枚 | 11 国旗……………55枚 | 20 自然・天体*(惑星のみ)……………45枚 |
| ③生活・身の回り……………30枚 | 12 ひらがな・カタカナ……………69枚 | 21 名所・旧跡*……………45枚 |
| ④生活・食事……………30枚 | 13 水の生物*……………40枚 | 22 動きの表現……………55枚 |
| ⑤生活・社会……………35枚 | 14 動物……………60枚 | 23 感情・感覚表現……………15枚 |
| ⑥人の体……………15枚 | 15 鳥*……………40枚 | 24 ことわざ*……………30枚 |
| ⑦野菜・果物……………70枚 | 16 昆虫・虫*……………40枚 | 25 百人一首*……………40枚 |
| ⑧色・形……………30枚 | 17 植物*……………50枚 | (白紙カード)……………(20枚) |
| ⑨時計……………20枚 | 18 乗物*……………60枚 | |

合計 1,000枚(白紙カード含めず) □の категорииの単語は、速音聴用CDに収録されています。(731語・句)
*のカードは、簡単な説明付です。

[絵カード]では…



[絵カード]のご使用例 (あくまで目安です)

- 初めてカードをお使いになる場合、1日20枚程度から始めます。
- 1日に1回20枚を朝昼夜の3回、たとえば食事のあとなど、習慣づけしやすい時間に分けて行うのが効果的です。
- カードに描かれている絵の名前を読みながら、1枚1秒以下のスピードですばやく後ろから前にカードをもっていくように見せます。また、逆に裏面の文字側をお子さまに向けて見せることも行います。文字の学習に役立ちます。カードの位置はお子さまから40～50cm離れたところが最適です。
- 最初の5日～1週間は、同じカードを見せるようにします。そのあとは5～10枚ずつ新しいカードと入れ替えていきます。



[デジタル速音聴® 絵カード]では…

<画面例>

■登録及び環境設定画面



ユーザーは7名まで登録できます。



環境設定の画面です。

■フラッシュモード



①練習したい言語を選択します。



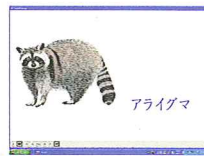
②フラッシュしたいカテゴリーを選択します。



③カードをめくる速さなどを選択します。



④漢字が表示されている場合、フリガナも表示されます。



⑥母国語ともう一つの言語の文字・音声を続けて流すことも可能です。



■ピッカーモード



①「アイ・カードピッカー」を選択すると、「アイ・カードフラッシュ」と同じ言語選択画面が表示されます。(ピッカーモードでは言語は1つしか選択できません)



②4つの絵が出て、この中の1つの音声が流れます。



③正しく選択できると絵の上の○が表示され、「ピンポン!」という音が流れます。



④間違えて選択すると、選択した絵の上に×が表示され、「フー」という音が流れます。



⑤問題がすべて終わると、結果に応じたごほうびが表示されます。この画面は、全問正解の場合で「金メダル」を獲得しました。正解の数によって「銀メダル」「銅メダル」などになります。



⑥正解と不正解の一覧の表示です。間違えた問題だけ繰り返し学習することができます。

デジタル速音聴®の絶対記憶®とは…

コンピューターを用いた記憶支援方法(特許取得)を使って、絵と文字を次々と見ながら同時にリスニングができる語学学習システムです。「アイ・カード マム」は、この記憶支援方法を取り入れた画期的な教材で、画面左側に画像を表示し、その右側にその画像(物)の名前が一定時間表示される画面を繰り返すことで、脳に刺激を与え記憶を助けます。

リスニングのスピードはノーマル、2倍速、4倍速の3段階があります。コンピューターで調整された、高速でも音飛びのないクリアな音声をレベルに合わせて聞くことができ、超高速で脳に刺激を与えます。また、一般的に脳にα波を出して心を落ち着かせる効果を持つといわれるクラシック曲をBGMに、ゆったりと流れるミュージックでリラックス状態を保ちながら、高速で学習を進めることができます。

[PAT.3803741 グローバルサクセス(株)]

「デジタル速音聴」または「デジタル速音聴」はグローバルサクセス(株)の登録商標です。

■「アイ・カード マム」でどれだけ楽しんだか確認する画面



どのくらい単語を覚えたかをグラフと比率で確認できます。



どれだけ「アイ・カード マム」で楽しんだか、カレンダーで確認できます。

こんなパソコンで使用が可能です

※パソコンによっては正常に作動しない場合があります。

- OS:Windows Vista/XP/2000
- CPU:1.2 GHz以上
- ディスプレイ:解像度1024×768 pixel 以上
- メモリ容量:256 MB 以上 (Vistaの場合1GB以上)
- 推奨HDD空き容量:1.5 GB 以上

アイ・カード マムの特長

- 「絵」の質を重視し、各カテゴリーの得意な画家が描いています。
 - 25あるカテゴリーのうち、「動物」「鳥」「水の生物」など、11のカテゴリーのカードには、絵についての解説を掲載していますので、図鑑的なカードでもお使いになれます。
 - カードの大きさは230×158mm。お子さまに見せやすく、扱いやすいサイズです。
 - カードはコーティング※が施され、ミルクやジュース等をこぼしても安心です。
 - デジタル速音聴®絵カードは6か国語に対応し、母国語を6つの言語の中から自由に設定できます。(日本語・英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語)
 - デジタル速音聴®絵カードでは2つのモード設定があり、「フラッシュモード」では最大4倍速の速度で絵カードをフラッシュし、脳を創造的に働かせるという「デジタル速音聴®」の特性を活かした効果的な学習システムを採用しました。また、「ピッカーモード」ではフラッシュで覚えた単語を記憶の引出しから引き出して、実際に覚えているかどうかを、クイズ形式に答えながら確認し、学習ができるようになっています。
- ※カードのコーティングの目的は、絵カードの特性である何度も繰り返しフラッシュされる用途に耐用できるよう、紙が擦れて絵が消えていくことを防止するために施したものです。もちろん安全面には十分に配慮していますので安心してご使用いただけます。



久保田競博士が推薦する アイ・カード マム

久保田 競 先生
京都大学名誉教授、日本福祉大学教授、
大脳生理学者、医学博士

「アイ・カード マム」が着目している「物の名前を覚える」「物の姿や形を覚える」「多言語の単語を覚える」という行為は、脳にとって、将来の知的能力の発達的基础となる、とても重要な刺激となります。この「アイ・カード マム」は、どこを間違えたのかを確認しながら繰り返し学習し、最後に「できた!」という「喜び」を快感としてお子さんが感じられるように工夫されており、とても良く考えられた学習システムです。

自ら考えて行動できる頭の良いお子さんを育てるために「アイ・カード マム」を取り入れた学習は、ひじょうに有意義だと言えます。

CHiME

Child's Intelligence Media BOOKLOAN

ブックローン株式会社

本社/〒652-0846

神戸市兵庫区出在家町2丁目2番26号 ☎(078) 651-7111 (代表)

☎0120-081-811

〈受付時間〉平日10:00～12:00・13:00～16:00/土・日・祝日を除く

●URL <http://www.blg.co.jp>

お問い合わせ先 (販売)

グローバルサクセス株式会社
愛媛県大洲市平野町平地350番地
TEL 0893-59-0700

担当者